

# めぐみイエス・キリスト教会

2023年9月3日(日)第一主日礼拝

午前10時より

週報「通算第672号」



## 2023年標題聖句

### 第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌358「神なく望みなく」 p. 572

【交読文】 No.34 詩篇第108篇 p. 907

【賛美Ⅱ】 新聖歌252「安けさは川のごとく」 p. 390

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「主と共にいつまでも」

【聖書朗読】 ルカの福音書1章46節～56節(新約p. 108上段)

【礼拝説教】 《マリアの賛歌(マグニフィカト)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(ルカの福音書1章46節～56節)

1:46 マリアは言った。「私のたましいは主をあがめ、

1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

1:48 この卑しいはしのために目を留めてくださったからです。ご覧ください。今から後、どの時代の人々も私を幸いな者と呼ぶでしょう。

1:49 力ある方が、私に大きなことをしてくださったからです。その御名は聖なるもの、

1:50 主のあわれみは、代々にわたって主を恐れる者に及びます。

1:51 主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。

1:52 権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げら

れました。

1:53 飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせずに追い返されました。

1:54 主はあわれみを忘れずに、そのしもベイスラエルを助けてくださいました。

1:55 私たちの父祖たちに語られたとおり、アブラハムとその子孫に対するあわれみをいつまでも忘れずに。」

1:56 マリアは、三か月ほどエリサベツのもとに留まって家に帰った。

### ●ポイント1.「マリアと親戚エリサベツとの再会」から

#### ※ルカの福音書1章39節～41節「ユダの町エン・カレム」(新約p.108)

1:39 それからマリアは立って山地にあるユダの町に急いで行った。

1:40 そしてザカリヤの家に行って、エリサベツにあいさつした。

1:41 エリサベツがマリアのあいさつを聞いたとき、子が胎内で躍り、エリサベツは聖霊に満たされた。

### ●ポイント2.「主にある交わりがもたらすもの」とは？

#### ※詩篇133篇1節～3節「都上りの歌。ダビデによる」(旧約p.1076)

133:1 見よ。なんという幸せなんという楽しさだろう。兄弟たちが一つになって共に生きることは。

133:2 それは頭に注がれた貴い油のようだ。それはひげにアロンのひげに流れて衣の端にまで流れ滴る。

133:3 それはまたヘルモンからシオンの山々に降りる露のようだ。

【主】がそこにとこしえの命の祝福を命じられたからである。

### ●ポイント3.「マリアの賛歌」とは？

#### ※第 I サムエル記2章1節～10節「サムエルの母の祈り」(旧約p.480)

#### ※ピリピ人への手紙4章4節「使徒パウロの勧め」(新約p.399)

4:4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

## ◎先週の礼拝メッセージ【マリアの訪問】

《御使いガブリエルは、マリアに受胎告知のしるしとして、親戚のエリサベツの懐妊を告げ知らせて去って行きました。それから、マリアは、すぐに両親の許可を得て「山地にあるユダの町」に向かいます。

さて、多くの祭司は、エリコに住んでいますが、ザカリヤ夫婦は、エルサレム郊外のエン・カレムに住んでいました。マリアは両親と何度か、エン・カレムに来たことは、間違いありません。

マリアはエルサレムに着きますと、ナザレから一緒に来た人たちと別れて、エン・カレムに急ぎます。そして、ザカリヤの家に着きますと、エリサベツにあいさつをしました。すると、エリサベツは聖霊に満たされ、大声で預言します。旧約時代には、聖霊は、神様が授けようとした人にしか臨まれませんでした。

「あなたは女の中で最も祝福された方。あなたの胎の実も祝福されています。あなたのあいさつの声が私の耳に入った、ちょうどその時、私の胎内で子どもが喜んで躍りました。」

エリサベツの言葉は、聖霊によらなければ、語ることは出来ません。エリサベツは、御使いガブリエルがマリアに伝えた受胎告知を知りません。これらのことすべてが、主イエスの母になるマリアの為のしるしと、道しるべなのです。また、マリアが訪問したことも、決して偶然ではなく、神様の摂理の中の出来事として、組み込まれていたのです。

エリサベツを通して聖霊は言われます。

「主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。」

ここで、私たちが学ぶことは、「信仰」についてです。『信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。』

ゆえに、私たちは、み言葉を信じなければならないのです。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、9月10日(日)で、通常通り午前10時からです。なお、10月17日は、斉藤順子宣教師が、メッセージと報告をなさいます。